

平成 24 年度
第 4 回「東京電力福島第一原子力発電所事故に関する調査委員会」
議事概要

日時：2012 年 10 月 24 日(水) 14:00～17:00

場所：電力中央研究所大手町本部第一会議室

出席者：

(委員長) 田中(知)

(幹事) 関村、田中(隆)、宮野、諸葛

(委員) 阿部(代理 電力中央研究所土肥)、井上、内田、大場(代理 三菱重工宮越)、岡本、小川、片岡、河井、木村、久野、越塚、小西、五福、佐田、須山、高橋、千葉、中島(健)、中島(憲)、奈良林、新田、藤巻、本間、松岡、山中(代理 三菱商事安部田)、山野、山本(一)、林道

(オブザーバー) 堀池、池本、澤田、塚田、布目、中野

(事務局) 荒井、西脇

1. 委員長挨拶

田中委員長から本日の議事次第と委員の交代及び追加の説明があった。

2. 第 3 回本委員会議事録

第 3 回本委員会議事録が承認された。

3. 中間報告書目次案について

宮野幹事から中間報告の目次(案)の説明があり審議され、各部会等での検討内容を踏まえたコメントを反映することとした。

4. 重要課題と取組方針について

岡本委員から重要課題のうち事故進展とソースターム評価に関する検討状況の説明があり、審議された。次回委員会でも状況報告がされることとなった。また、関村幹事から事故に至らなかったプラントの分析については、原子力安全部会において 10 月 22 日及び 11 月 2 日のセミナーで検討を行うこととしている旨、説明があった。

5. 地震の影響評価

宮野幹事から WG における政府事故調の報告内容を踏まえた議論など検討状況が報告され、審議された。

6. 新型炉部会における規制動向調査

山野委員より IAEA や欧米で行われている規制の見直し等の動向に関する説明が行われた。

7. 原子力災害における緊急事態への準備と対応の課題について

本間委員より、資料に基づき、国際的に多数の国が参照している国際原子力機関(IAEA)

の安全要件「原子力又は放射線の緊急事態に対する準備と対応(GS-R-2)」(2002年)の主要な包括要件および機能要件が紹介され、福島第一事故の防災対応の課題として、以下のように①緊急時管理と運営、②緊急防護措置の実施、③情報伝達と情報提供、④原子力法規制における防災の位置づけなどの説明があった。

この説明を踏まえ、学会事故調においては、国際原子力機関(IAEA)の安全要件(GS-R-2)を踏まえて、福島第一事故の防災対応を科学的・専門的視点から調査・検証し、今後の課題も含めた分析を進めることとした。また、現在、原子力規制委員会において、原子力災害対策指針策定が進められていることに鑑み、当調査委員会としても、原子力防災の技術的・専門的事項を扱う指針策定過程において、積極的に発言する必要性が認識された。

8. 事故調査のための情報提供要請等の取扱いについて

田中(隆)幹事より事故調査のための情報提供要請等の取扱い要領を、処理の迅速化の観点から変更する旨説明された。

9. 調査委員会資料の学会の部会内での取り扱いについて

田中(隆)幹事より調査委員会資料の部会での取り扱い方法について説明があった。

10. 福島第一原子力発電所現地調査について

宮野幹事から福島第一原子力発電所の現地調査について説明された。

11. 春の大会での企画セッションについて

田中(隆)幹事より春の年会での企画セッションについて説明され、承認された。

12. その他

年内の委員会の日程について、次のとおり確認された。

- 次回第5回委員会は、11月19日(月)14:00~17:00、電力中央研究所会議室(大手町)で開催する予定。
- 第6回委員会は、12月21日(金)14:00~17:00、5東洋海事ビルで開催する予定。

以上